

潟上市DX推進計画【第2.0版】（案）の概要

計画策定の背景と趣旨

社会全体でデジタル化の動きが加速する中、本市においては、様々なサービスを担う生産年齢人口が今後大きく減少すると推計されており、将来にわたり安定した市民サービスを維持していくためには、これまでの業務をより簡素化、効率化していく必要があります。

潟上市では、デジタル技術の戦略的活用による持続的な発展を目指すものとして、令和5年4月に「潟上市DX推進計画」を策定し、各種施策を推進してきましたが、計画期間が終了することを踏まえ、次のステージに向けた新たな計画を策定します。

計画の位置付け

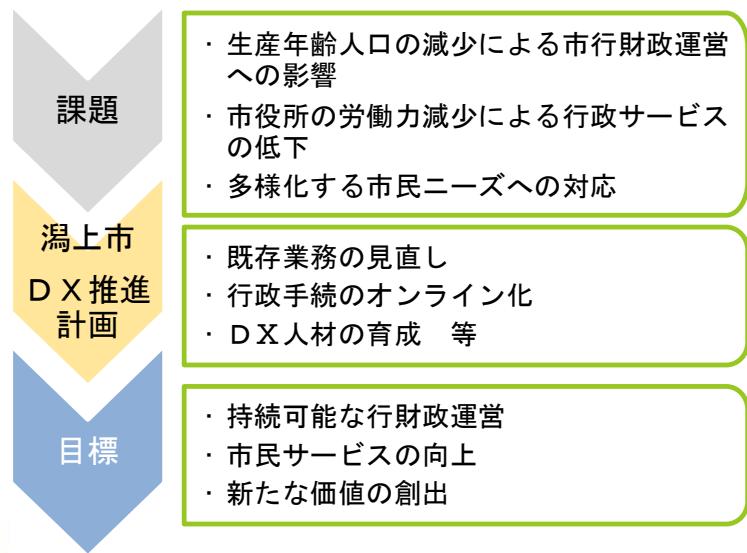
「官民データ活用推進基本法」に規定されている「市町村官民データ活用推進計画」に位置づけるものとして、第3次潟上市総合計画をDX推進という側面から支え、地方創生や人口減少の克服に向けた取組をまとめた総合戦略や、業務改革の取組を盛り込んだ行政改革大綱と連携するものとします。

計画の期間

令和8年度（2026年度）から令和11年度（2029年度）まで※国の動向やデジタル技術の進展、市民ニーズの変化等により必要に応じて見直すものとし、実施計画については進捗状況や市の実情を基に毎年度見直すものとします。

計画の構成と目標

本計画は、「基本計画」と「実施計画」に分かれ、個別事業は「実施計画」に記載します。



計画の推進体制

本計画の推進に当たっては、市長を本部長とする「潟上市DX推進本部」において、施策の進捗管理計画の調整を行いながら、全職員でDXの推進を図ります。また、外部人材のアドバイスを得ながら計画の見直しを図ります。

計画推進のための施策体系

基本方針1 持続可能な行財政運営

業務の見直しを図り、効果的・効率的で将来にわたり持続可能な行財政運営を目指します。

基本方針2 市民サービスの向上

各種行政手続のオンライン化など、行かなくてもよいデジタル市役所を目指します。

基本方針3 新たな価値の創出

オープンデータの利活用による新たな価値の創出や、地域課題の解決を目指します。

施策1 デジタル活用による事務効率化の推進

- 1) 庁内業務のデジタル化
- 2) BPRの取組推進
- 3) AI・RPAの利用推進
- 4) 校務DXの推進

施策2 効率的なオフィス環境の確立

- 1) オンライン会議・テレワークの積極的活用
- 2) セキュリティ対策の徹底
- 3) 自治体情報システムの標準化・共通化の推進
- 4) DX人材の確保・育成

施策1 書かない待たせない行かない窓口の実現

- 1) 各種手続のデジタル化
- 2) 窓口DX
- 3) コンビニ交付サービスの推進
- 4) 収納チャネルの拡大

施策2 デジタル活用支援の推進

- 1) マイナンバーカードの取得支援・利用の推進
- 2) デジタルデバйд対策

施策1 情報発信の充実

- 1) オープンデータの推進
- 2) SNS等の活用推進

施策2 デジタル活用による地域の活力向上

- 1) スマート農業導入支援
- 2) 企業のデジタル化支援
- 3) 教育DXの推進